吉本（よしもと）　真子（まこ）さん
JICA 海外協力隊　2019 年度 1 次隊
派遣国：キルギス　職種：青少年活動

2022 年 1 月 16 日（日）中国新聞 SELECT 掲載

※中国新聞社の許諾を得ています

短期間でも大切な時間

キルギスのホームステイ先の家族と迎えた新年

「3、2、1、あけましておめでとう！」。キルギスの家族みんなで迎えた年明けは、大きなクリスマスツリーと鮮やかな装飾に囲まれていた。中央アジアのこの国では、クリスマスと新年は同じタイミングで起こるイベントになっている。

2019 年 8 月から JICA 海外協力隊として、首都ビシケクから車で 4 時間のアク・ウチュック村の学校で、子供たちに英語を教えた。新卒で学校での指導経験が少ない私に、子供たちは一人の人間として興味を持ち、毎日たくさん話しかけてきてくれた。同僚の先生方は娘のように気にかけ、家に招いてくれた。帰宅すると、笑顔で迎えてくれたのは同僚の先生夫婦のホストファミリーだった。子供の英語力向上のために派遣された私が、周りのみんなに助けられていた。

クラブ活動や先生との授業準備が進み始め、やっと恩返しができるというところだった。新型コロナウイルスの感染拡大により 20 年 3 月、世界中に派遣されていた約 2 千人の全隊員が一時帰国となった。日本では訓練を終えて渡航待ちの隊員、晴れて合格し訓練の準備をしていた隊員が約千人いた。国内での活動に気持ちが切り替えられるまでは、隊員としての時間が止まったような感覚だった。

しばらくして、私は隊員をサポートする側として JICA 中国で働き始めた。21 年 12 月以降、JICA はコロナ禍における隊員の渡航再開を慎重に進めており、現在は約 30 カ国に派遣している。目の前の人たちが幸せになるために悩み、行動する 2 年間は、残りの人生を変えるかけがえのない時間だ。活動期間が短くなっても隊員として過ごした時間は貴重で、その時間をいつか、日本も変える力にしてほしい。